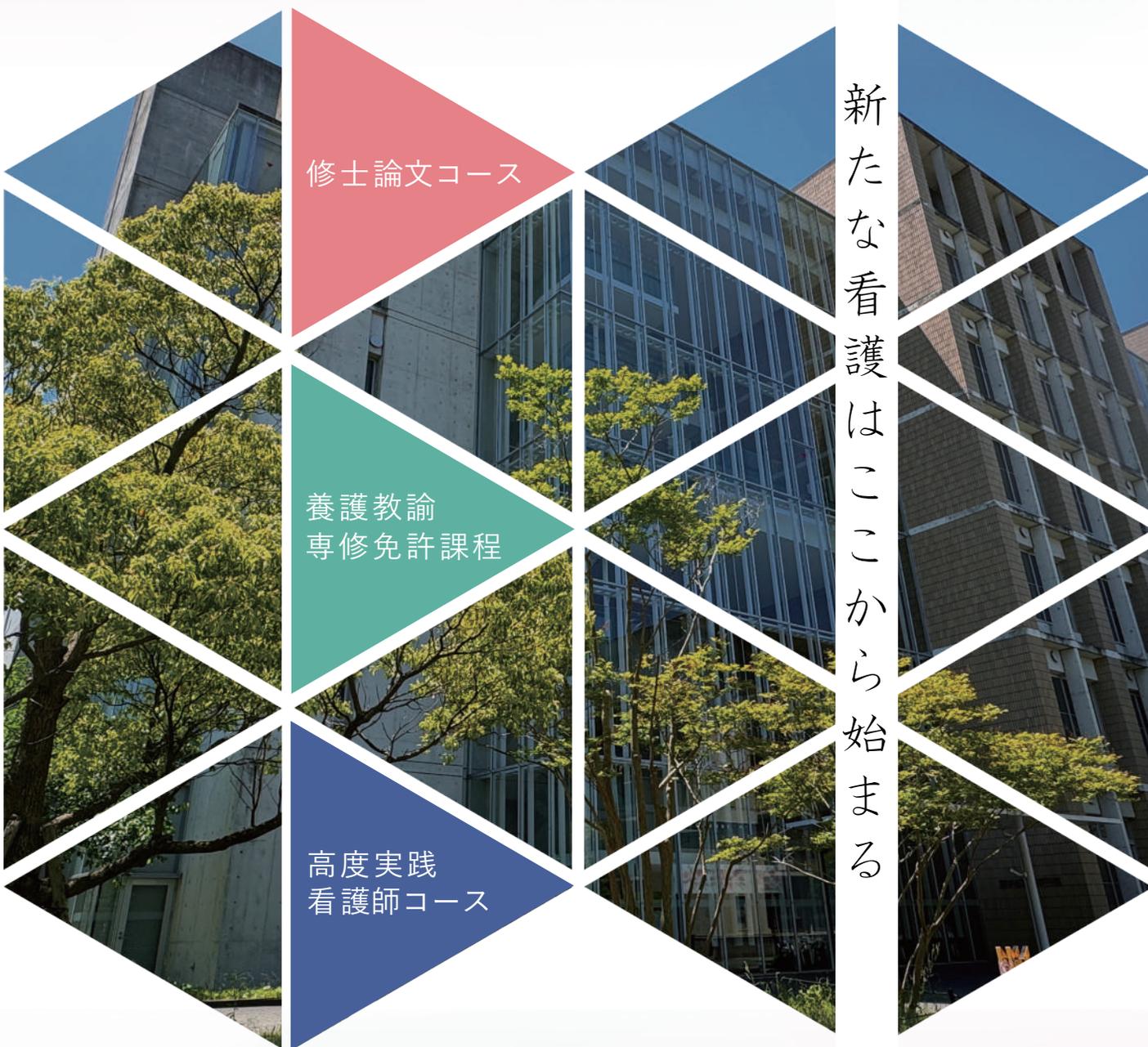




福岡大学大学院医学研究科看護学専攻

修士課程



修士論文コース

養護教諭
専修免許課程

高度実践
看護師コース

新たな看護はここから始まる

試験日 秋季：令和7年 9月10日(水)
春季：令和8年 2月17日(火)

願書受付期間

秋季：令和7年 8月21日(木)～8月25日(月)
春季：令和8年 1月19日(月)～1月22日(木)

※志願者は必ず出願資格を確認し、希望する専門領域の研究指導教員へ事前に連絡をとってください。

入学定員：6名

修業年限：2年（長期履修の場合は3年または4年）

詳細は、QRコードから
「入試要項」をご参照
ください。



看護学専攻(修士課程)

看護学専攻修士課程の教育目標

看護学において高度な専門的知識・探求心を持ち、責務が拡大する保健・医療チームで広く活躍できる高度な専門職業人を養成する。

修士論文コース

看護学領域の専門的な知識・技能を基盤として看護実践力・看護管理能力・看護教育力・看護研究力を有し、実務家として看護の質向上に貢献できる看護専門職者を養成する。

高度実践看護師コース

高度な看護学の専門的知識・技術を駆使して、保健・医療・福祉現場において、複雑な健康問題を有する患者に卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践の向上に貢献できる看護師を養成する。

福岡大学大学院
医学研究科看護学専攻
修士論文公開発表会



アドミッションポリシー

医学研究科看護学専攻では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程の編成、実施方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえ、次に掲げる意欲と能力を備えた学生・社会人を受け入れる。

修士論文コース

看護学の高い専門知識・技能を学修する意欲と生命の尊厳を守り、病む人の心を理解する深い感性を有し、看護の質の向上と変革に寄与する意志を持つ人に広く門戸を広げる。

看護研究に関する基礎的知識と科学的思考を基盤に、国内外の幅広い健康課題に関心を持ち、多角的な視点から課題に対する看護・教育の実践、研究を遂行できる人材を受け入れる。

高度実践
看護師コース

高度実践看護にかかわる専門知識・技能を学修する課程であり、看護実践に携わる者で高度実践看護に関心と意欲を持つ者に広く門戸を広げる。

また専門的な実践を創造していくために、基礎的な語学力、高いコミュニケーション能力、抽象的思考および論理的思考を備えている人材を受け入れる。

募集する専攻分野

修士論文コース

01

看護教育・管理領域

看護環境の変化や看護管理実践上の課題を理論的・客観的に分析し、看護システムを変革できる能力を有する看護教育・看護管理の実務家を養成する。

02

地域健康支援領域

保健・医療・福祉のシステムを有機的に連携・調整し、地域における社会環境と生活の支援を推進できる実務家を養成する。

03

成人療養支援領域

成人期以降に様々な健康問題を有する対象者とその家族のQOLの向上を目指し、急性期、慢性期、終末期の各健康レベルに応じた療養を支援する実務家を養成する。

04

高齢者療養支援領域

高齢者のQOLを維持、向上するために、社会・心理・身体的ケアのアプローチを看護の視点から考究・実践できる実務家を養成する。

05

母子健康支援領域

母子健康支援に関する母性看護・小児看護・学校保健の健康課題を探究し、課題を解決する能力を有する専門性の高い実務家を養成する。

06

精神健康支援領域

精神健康支援に関する保健・医療・福祉において健康課題を探究し、専門性の高い実践能力と問題解決能力を有する実務家を養成する。

▶ 養護教諭専修免許課程

養護教諭一種免許を有する者は、修士論文コースの必要な単位を修得すると、養護教諭専修免許を取得することができる。

(※01~06 いずれの領域からでも取得可能)

高度実践
看護師コース

高度な看護学の専門知識・技術を駆使して、保健・医療・福祉現場において、複雑な健康問題を有する患者に卓越した直接ケアを提供できる看護師を養成する。

専門看護分野において、実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究に対する役割を果たし、ケアシステム全体を改善することで、看護実践の向上に貢献できる看護師を養成する。



コースの概要

修士論文コース ▶ 以下の科目から、合計30単位以上を修得する

	科目	配当年次	単位
必修科目	看護研究	1年次 前	2
	看護倫理	1年次 後	2
共通科目 選択科目	英語文献講読	1年次 後	2
	保健医療福祉政策論	1年次 後	2
	人間発達論	1年次 前	2
	医学統計学	1年次 後	2
	看護管理論	1年次 前	2
	フィジカルアセスメント	1年次 前	2
	臨床薬理論	1年次 前	2
	病態生理学	1年次 前	2
	コンサルテーション論	1年次 前	2
	看護政策論	1年次 後	2
	看護教育論	1年次 後	2
	看護理論	1年次 後	2

	科目	配当年次	単位
母子健康 支援領域	母子健康支援論Ⅰ	1年次 前	2
	母子健康支援論Ⅱ	1年次 後	2
	こどもの発達メンタルヘルス(*1)	1年次 前	2
	学校保健特論(*2)	1年次 後	2
	母子健康支援論演習	1年次 通	4
地域健康 支援領域	地域健康支援論Ⅰ	1年次 前	2
	地域健康支援論Ⅱ	1年次 後	2
	地域健康支援論演習	1年次 通	4
看護教育・ 管理領域	看護教育・管理方法論Ⅰ	1年次 前	2
	看護教育・管理方法論Ⅱ	1年次 後	2
	看護教育・管理論演習	1年次 通	4
成人療養 支援領域	成人療養支援特論A	1年次 通	4
	成人療養支援特論B	1年次 通	4
	成人療養支援論演習	1年次 通	4
高齢者療養 支援領域	高齢者療養支援論Ⅰ	1年次 前	2
	高齢者療養支援論Ⅱ	1年次 後	2
	高齢者療養支援論演習	1年次 通	4
精神健康 支援領域	精神健康支援論Ⅰ	1年次 前	2
	精神健康支援論Ⅱ	1年次 後	2
	精神健康支援論演習	1年次 通	4
特別研究		2年次 通	6

養護教諭専修免許課程

養護教諭専修免許取得希望者は、所定の科目から、養護教諭免許取得の必修科目(*1*2)を含む科目を修得する。

※必要単位数等の詳細は、本学教職課程教育センターにお問い合わせください。

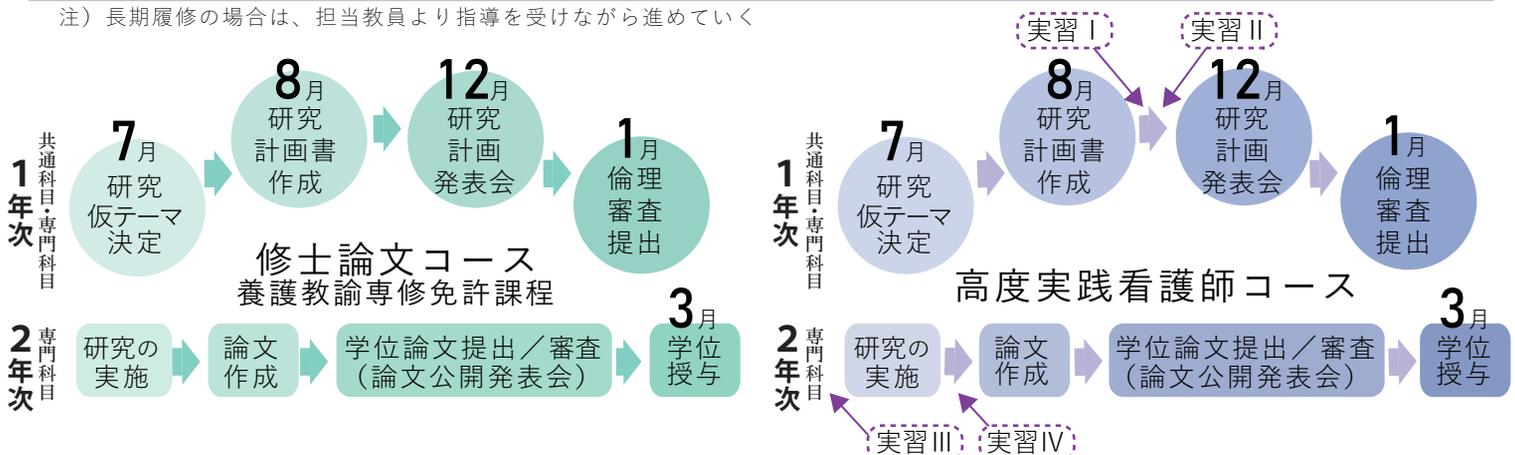
高度実践看護師コース ▶ 以下の科目から、合計40単位以上を修得する

	科目	配当年次	単位
必修科目	看護研究	1年次 前	2
	看護倫理	1年次 後	2
共通科目 選択科目	英語文献講読	1年次 後	2
	保健医療福祉政策論	1年次 後	2
	人間発達論	1年次 前	2
	医学統計学	1年次 後	2
	看護管理論	1年次 前	2
	フィジカルアセスメント	1年次 前	2
	臨床薬理論	1年次 前	2
	病態生理学	1年次 前	2
	コンサルテーション論	1年次 前	2
	看護政策論	1年次 後	2
	看護教育論	1年次 後	2
	看護理論	1年次 後	2

	科目	配当年次	単位
専門科目	クリティカルケア看護理論	1年次 前	2
	クリティカルケア病態生理学	1年次 前	2
	クリティカルケア急性・重症患者管理論	1年次 前	2
	クリティカルケア看護学	1年次 前	2
	クリティカルケア看護学演習Ⅰ	1年次 前	2
	クリティカルケア看護学演習Ⅱ	1年次 後	2
	クリティカルケア看護学演習Ⅲ	1年次 後	2
	クリティカルケア看護学実習Ⅰ	1年次 後	2
	クリティカルケア看護学実習Ⅱ	1年次 後	2
	クリティカルケア看護学実習Ⅲ	2年次 通	3
	クリティカルケア看護学実習Ⅳ	2年次 通	3
	課題研究	2年次 通	2

学位取得までの履修プログラム

注) 長期履修の場合は、担当教員より指導を受けながら進めていく



■ 教育指導時間の工夫

職場における勤務時間等に配慮し、夜間等にも授業を行う。

■ 長期履修制度

フルタイムの職業を有する社会人学生に対して長期履修制度を導入し、標準修業年限（2年）を超えて3年間の履修により修士課程を修了することが可能である。

在学生・修了生からのメッセージ



修士論文コース
在学生
不動 真由美さん



私は修士論文コースで高齢者療養支援領域を専攻しております。大学院での学びを通じて、日本の高齢社会が直面する課題について深い洞察を得ることができました。研究活動においては、臨床現場での疑問が研究テーマへと発展し、エビデンスと実践を橋渡しする能力を養うことができます。また、多職種連携の視点も広がり、高齢社会の課題に取り組む喜びを日々実感しています。「知りたい」という探究心が、明日の高齢者ケアを変革する第一歩となるよう、大学院での知見をさらに深めるべく精進しております。熱心かつ親身なご指導をいただける先生方に恵まれ、充実した大学院生活を送っております。



高度実践看護師コース
在学生
椎屋 直人さん



授業日程の調整をしていただき、働きながら大学院に通うことができています。大学院に通うのは、仕事や家庭の両立など大変なことも多いですが、新たな学びを得る機会が充実した日々を送っています。臨床での疑問や悩みを授業で深く考えることや、学んだことをすぐに臨床に活かすことができるのは、仕事をしながら通うメリットです。大学院への興味や進学したいと思ったタイミングを逃さず、前に進むことが大切だと感じています。



修士論文コース
修了生
星野 宏子さん



働きながら大学院の講義準備は大変でしたが、先生や同期とのディスカッションで新たな気づきが得られる有意義な時間でした。論文を読むのが苦手でしたが、講義の中で論文に触れる機会が多く、苦手意識も薄れました。修士論文作成も丁寧に指導していただけるので、ぜひチャレンジしてみてください。



高度実践看護師コース
修了生
百枝 裕太郎さん



私は、長期履修制度を活用し臨床での勤務を続けながら3年間でCNSコースを修了しました。仕事と家庭、大学院の両立は大変でしたが、同じ志を持つ同期や他分野の院生、先生方とディスカッションできた3年間は自身の看護観や視野を広げることができた非常に充実した時間でした。大学院では様々な理論や方法論に触れる機会も多く、それらは高度実践看護の基盤となり、修了後の臨床実践をよりクリアにするものになったと感じています。自身の実践を見つめ直したい、臨床の中に問題意識を持った時こそが大学院に飛び込む良いタイミングだと思います。

修了後は…

臨床実践の場における
実践・管理・教育・研究の管理者
大学の教育者・研究者
行政機関の指導者
学校での高度な養護実践

養護教諭
専修免許

基幹病院の
高度実践看護師
(急性・重症患者
看護専門看護師)

福岡大学

FUKUOKA UNIVERSITY

福岡大学医学部事務課（看護学）

〒814-0180 福岡市城南区七隈7-45-1

Tel : 092-801-1011 (内線4331)

Mail : nurse@adm.fukuoka-u.ac.jp

HP : <https://www.med.fukuoka-u.ac.jp/nursing/>

Access

